

『東日本大震災復興支援募金』（2018年度） 組合員から1,215万3,322円が寄せられました （期間：2018年4月～2019年2月まで）

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、東日本大震災の被災地の復興を支援する『東日本大震災復興支援募金』を組合員に呼びかけ、2018年度（2018年4月から2019年2月まで）は、1,215万3,322円の募金が寄せられました。

『東日本大震災復興支援募金』は、2011年3月からコープみらいの店舗および宅配サービス「コープデリ」、組合員施設「コーププラザ」で通年実施している募金活動です。2018年度にお寄せいただいた募金は、被災地のコープふくしま、福島県生活協同組合連合会、みやぎ生協、いわて生協による復興支援活動、被災地の仮設住宅や復興支援住宅にお住まいの方の交流の場「ふれあいサロン」の運営費用、避難者交流会運営費用などに有効に活用されています。

東日本大震災から8年を迎えようとしている現在も、被災地では避難を余儀なくされている方々がいらっしゃいます。コープみらいでは、「忘れない」「伝える」「続ける」「つなげる」を合言葉に、被災された方々のニーズに寄り添いながら、一日も早く平常の生活に戻れることを願い今後も支援活動を続けてまいります。

— 『東日本大震災復興支援募金』概要 —

実施期間：通年（2011年3月から実施）

募金方法：宅配サービス「コープデリ」の注文書への記入（1口100円、または1口1,000円）

店舗に設置した募金箱、ならびにレジ精算時の募金

組合員施設「コーププラザ」募金箱での募金 ※東京エリアのコーププラザは除く

募金使途：募金は、コープふくしま、福島県生活協同組合連合会、みやぎ生協、いわて生協の復興支援活動（「ふれあいサロン」「ふれあい喫茶」）の運営費用、避難者交流会などに活用。



『SDGs』の目標11

包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に、事業と活動を通して貢献します。

《生活協同組合コープみらい 概要》

【住所】埼玉県さいたま市南区根岸1-5-5

【理事長】新井 ちとせ（あらい ちとせ）

【組合員数】348万人（2019年2月20日現在）

【総事業高】3,898億円（2017年度）

【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都

【ホームページ】<https://mirai.coopnet.or.jp/>